

被ばく低減対策好事例集

場所		分類		番号	29-17
原子炉建屋内	RB	R 3	1 時間		
タービン建屋内	TB		2 距離		
R ZONE	R		3 遮へい		
Y ZONE	Y		4 線源の除去		
G ZONE	G		5 遠隔、ロボット化		
その他 ()	Z		6 汚染拡大防止		
			7 その他		

内容	フランジタンク内β線遮へい			
作業部位	ヤード フランジタンク解体エリア			
概略	タンク内に作業員が入る際、底板をゴムマット、側板はコンパネ+アルミ板で遮へいした。			
評価 (定性・定量)	効果		対策前	対策後
		タンク内線量率(mSv/h)	89.4	2.4
		人工数(人日)	--	--

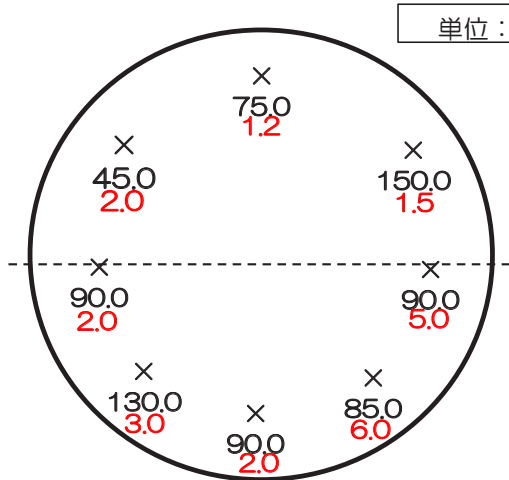
事例詳細

対策前 タンク内はβ線量率が高く遮へいの必要があった。

対策内容 タンク内に作業員が入る際、タンク内β線を遮へいするため底板はゴムマット、側板はコンパネ+アルミ板で遮へいした。

C10タンク内線量当量率測定結果
 (測定場所・・・側板～50cm 床面～1.2m)
 黒字：対策前 赤字：対策後

対策：遮へい材の設置
 ・タンク底板にゴムマットを設置する。
 ・タンク側板にコンパネ+アルミ板を設置する。



低減効果（線量当量率平均値）
 対策前：89.4mSv/h
 対策後： 2.4mSv/h・・・97%低減